

第2回新たな総合福祉センターの 機能・設備に関する検討会

令和4年5月31日（火）
調布市行政経営部・福祉健康部

第2回新たな総合福祉センターの 機能・設備に関する検討会

- | | | |
|----|---|------|
| 第1 | 第2回検討会の実施概要及び検討会のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・ | 3ページ |
| 第2 | 第1回検討会の実施結果等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 5ページ |
| 第3 | 新たな総合福祉センターのゾーニング検討（案）及び
現施設での事業等の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・ | 8ページ |



第1

第2回検討会の実施概要及び検討会のスケジュール

1 第2回検討会の実施概要及び検討会のスケジュール

第2回検討会（令和4年5月31日）実施概要

- ① 第1回会議の実施結果及び主な御意見の確認
- ② 新たな総合福祉センターのゾーニング（案）の具体的なイメージについて
- ③ 意見交換



	4月～6月 第1四半期	7月～9月 第2四半期	10月～12月 第3四半期	1月～3月 第4四半期
① 平面プラン	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">平面プランの確定</div> 			
② 施設の設備のユニバーサルデザイン		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計への反映・確認</div> 		
③ 京王多摩川駅周辺（施設周辺環境）のアクセシビリティ			<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">設計への反映・確認</div> 	
④ 調布駅周辺の福祉機能, その他				

全体的な意見の取りまとめ

※ 上記のスケジュールは、今後の検討状況を踏まえて、適宜、調整することがあります。



第2

第1回検討会の実施結果等

- 1 実施内容
- 2 主な御意見（要旨）

1 実施内容

① 開催日時：令和4年3月31日（木）

② 主な検討項目

新たな総合福祉センターの機能・設備に関する市の考え方の説明，意見交換等

【主な議事】

- 総合福祉センターの整備に関する考え方について
- 検討会のスケジュール（案）について
- 新たな総合福祉センターのゾーニング（案）について
- 意見交換

2 主な御意見（要旨）

① 総合福祉センターの整備に関する考え方等について

- 開発計画においても世代・年代に関わらず様々な方が交われる，地域に根付いた場を作っていきたい。また，新たに生み出されるものにより，多摩川地区を活性化していきたいという思いがある。

② 新たな総合福祉センターのゾーニング（案）等について

- ゾーニングの検討に当たっては，利用者の意見を優先して話を進めていく必要があると思う。
- 医療ゾーンについて，感染対策に配慮した十分なスペースを検討して欲しい。
- これまで別のフロアにあった機能がひとつのフロアになるので，「プライバシーへの配慮」と，「活動状況が見えるような接点」の両面があると良いと思う。
- 活動に使用する備品の移動が大変なので，倉庫の位置をよく考えてほしい。
- 共生社会の充実を推進するのであれば，地域の人が立ち寄れる場所を一番外側の交流できるところに設置したらよいのではないかと思う。
- 高齢事業だけでなく，障害事業でも介護ベッドが必要な場合がある。介護ベッド付きトイレを数箇所に配置できるのか。
- 避難経路について，高齢ゾーンにもスロープが必要なのではないか。

③ その他

- 今後の高齢化率などを踏まえて，幅広い視点で検討して欲しい。
- シャトルバスの大きさに対して，道路の幅は問題なく通行できるのか。

【検討会会長のまとめ】

- 本日は総論的な意見をいただいたが，次回の検討会までに事務局で精査して，意見や課題の整理を行ったうえで，具体的な検討を進めていきたい。

第3

新たな総合福祉センターのゾーニング検討（案） 及び現施設での事業等の実施状況

- 1 新たな総合福祉センターのゾーニング検討（案）
- 2 交流ゾーン
- 3 高齢者支援ゾーン
- 4 障害者・児支援ゾーン
- 5 子ども・若者支援ゾーン
- 6 活動支援ゾーン
- 7 フレイル予防ゾーン
- 8 事務ゾーン
- 9 医療ゾーン

1 新たな総合福祉センターのゾーニング検討 (案)

地域共生社会を充実するための総合的な福祉の拠点

[概要]

- ① 医療・高齢活動支援等の機能を加えた総合的な福祉の拠点
- ② 支え合い活動や情報発信の拠点
- ③ 地域に開かれた親しみやすい福祉の拠点

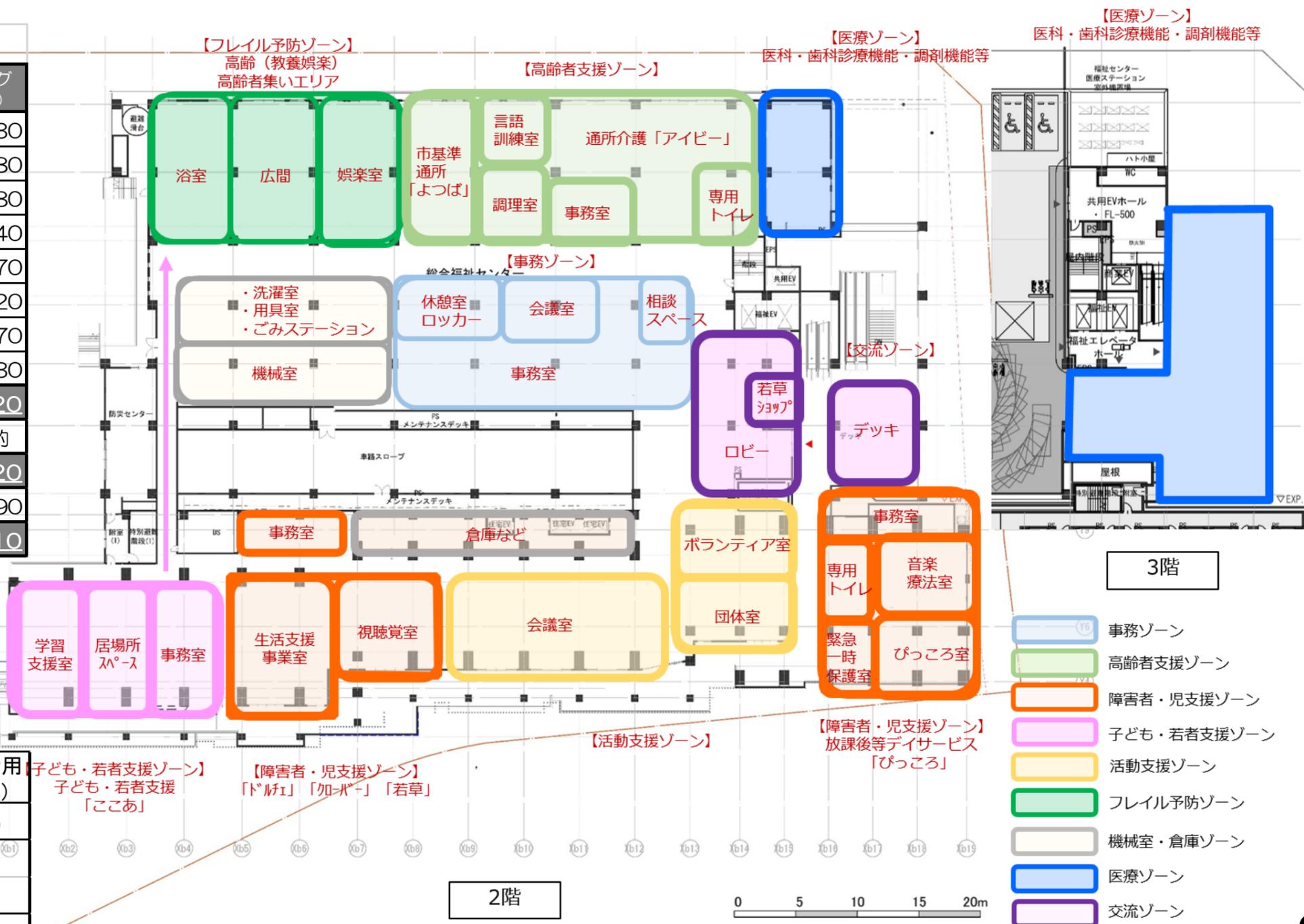
- ① 医療ゾーンで、休日・夜間診療等の拠点機能を集約・複合化するとともに、フレイル予防ゾーンで従来の高齢者支援機能と老人憩いの家機能との調和による健康増進活動の促進
- ② プライバシーに配慮した相談室等の設置及び相談スペースの充実
 - 活動支援ゾーンに会議室やボランティア室、団体室を配置し、支え合い活動や団体の支援体制を充実
 - 交流ゾーンにおけるロビーやデッキ等への掲示場の設置、デジタルサイネージやICT機器の導入による情報発信の拠点機能の充実
- ③ 新たな総合福祉センターの顔となる玄関口に交流ゾーンを設置し、利用者の方も地域の方も、誰もが集える交流の機会を創出

利用可能居室面積の対照表

区分	ゾーン名称	現状㎡	ゾーニング面積 (案)
総合福祉センター	交流ゾーン	83	130
	高齢者支援ゾーン (よつば・アイビー)	440	480
	障害者・児支援ゾーン (ドルフィン・加-P+・若草)	253	280
	障害者・児支援ゾーン (ぴっころ)	207	240
	子ども・若者支援ゾーン (ここあ)	68	270
	活動支援ゾーン	333	420
既存	フレイル予防ゾーン ※	157	270
	事務ゾーン	633	630
総合福祉センター機能合計面積		2174	2720
複合	老人憩いの家機能	270	機能集約
	総合福祉センター+憩いの家機能面積	2444	2720
複合	医療ステーション機能	260	390
	総合福祉センター+憩いの家+医療ステーション	2704	3110

※ フレイル予防ゾーンは、総合福祉センターの教養娯楽室等の機能と老人憩いの家機能を集約・複合化することにより、機能の効率化を推進

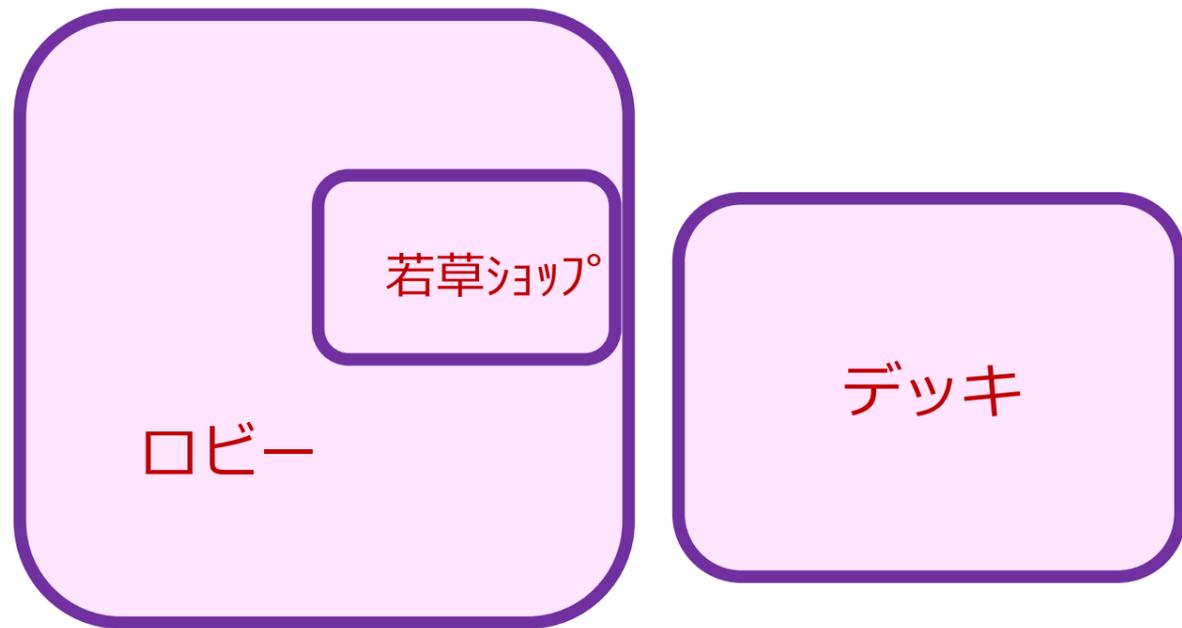
区分	合計面積概算(㎡)	利用可能居室面積(㎡)	施設の活用割合(%)
現3施設合計	6532	2704	41.40%
合計面積: 総福(5740) + 憩の家(350) + 医療ステ(442) = 6532			
利用面積: 総福(2174) + 憩の家(270) + 医療ステ(260) = 2704			
新たな総合福祉センター(案)	4600	3110	67.61%



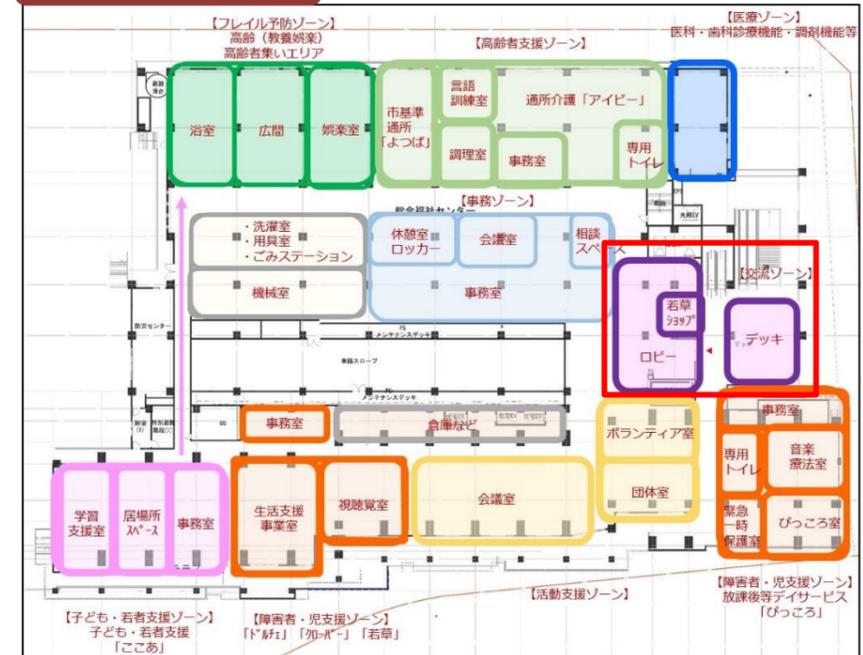
2 交流ゾーン

ゾーンコンセプト

高齢者，障害者，児童などの利用者や地域住民のみならず，あらゆる市民の交流・集いの場を創出し，地域共生社会の充実を推進するゾーンの整備を目指します。



ゾーン配置



交流ゾーン		現状㎡	ゾーニング面積 (案)
11	エントランス若草ショップ	10	エントランスゾーンとして 130㎡程度を想定 (デッキ部分は含まず)
12	エントランスたまり場	50	
B11	補助具等貸出しコーナー	23	
追加	車いす保管場所		
合計		83	

実施予定の事業

〇わかくさショップ など

移転・更新における対応 (メリット)

- デッキの一部は開放感のあるテラスのような空間として活用することを想定，デッキとロビーを同じような床素材とすることでデッキ利用者が気軽に入館できるように配慮
- デッキは駅前広場利用者などが見上げた際に，休憩できる場所があることに気付けるよう配慮

交流ゾーンイメージ

総合福祉センター入口前のデッキ部分及びエントランスロビーを交流ゾーンとして位置付け

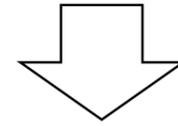
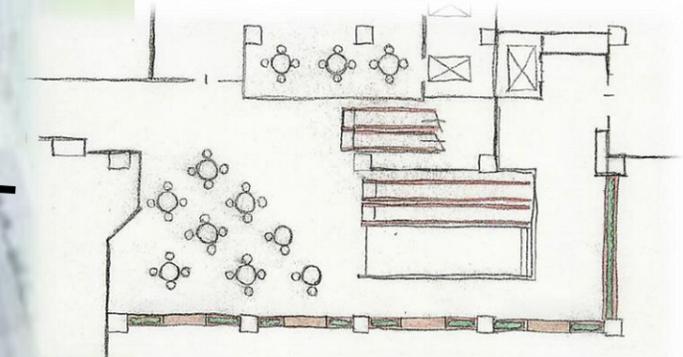
ロビー内部はテラスの延長でテーブルやイスを用意し、気軽に立ち寄ることのできるカフェスペースとして活用
ロビー内には現在の若草ショップなどを配置

デッキとロビーが同じ開放感のある空間に感じられるようにガラス面を設置
デッキとロビーの床仕上げを同じような素材とするなど、デッキに立ち寄った方々が気軽に入館できるよう配慮

デッキ奥の壁面などの一部には、市政情報の掲示や総合福祉センター利用者の作品を掲示

デッキは、気軽に交流ゾーンに立ち寄れる場所として、駅前広場利用者などが見上げた際に、休憩できる場所があることに気付くよう配慮し、一部は、カフェテラスのように活用

駅前広場で、キッチンカーなどによる福祉作業所等の商品を販売



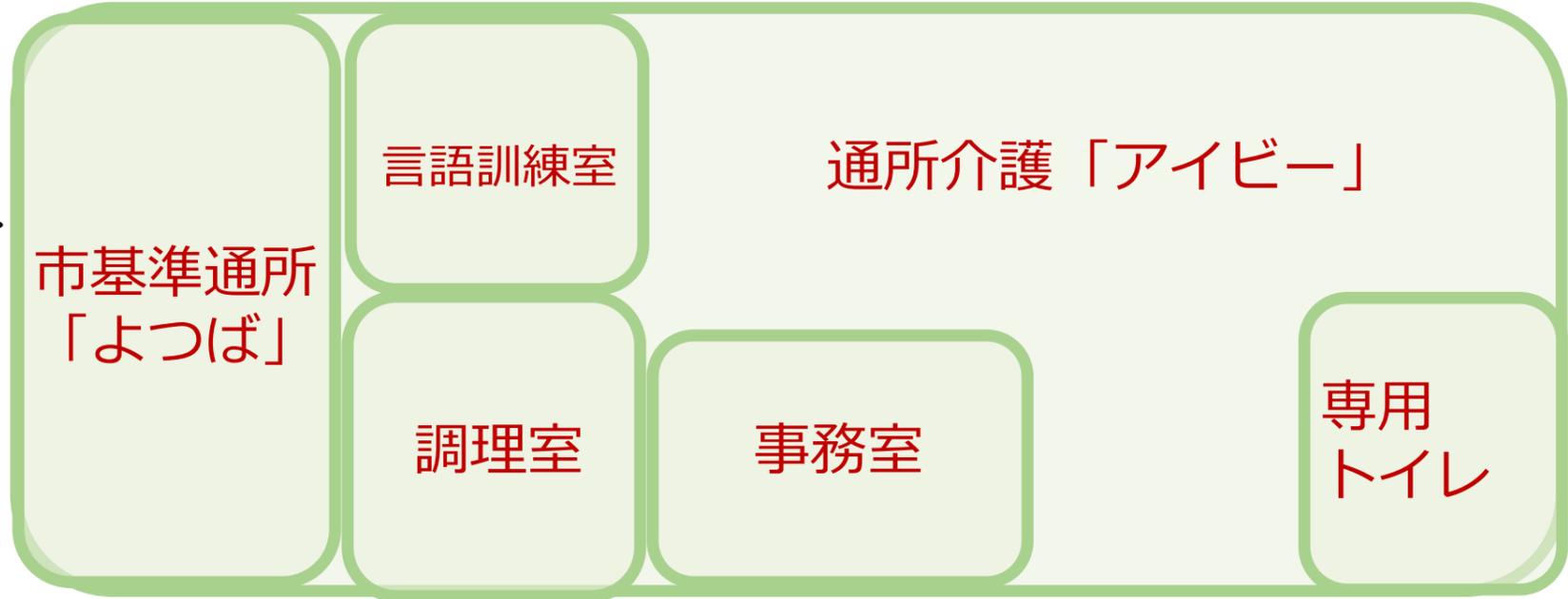
※現時点でのイメージであり、内容を変更する可能性があります。今後実現に向け関係団体等と調整して参ります。

3 高齢者支援ゾーン

ゾーンコンセプト

趣味や運動・音楽などの活動や利用者間の交流の機会の提供を通じて、高齢者の自立支援・重度化防止を推進し、生きがいをもって自分らしく元気にいきいきと暮らせるよう、隣接するフレイル予防ゾーンと連動して、高齢者等を支援します。

高齢者支援ゾーン		現状㎡	ゾーニング面積 (案)
32	よつば	48	よつば・アイビーとして 480㎡程度を想定 (アビ-専用トイレ含まず)
33	アイビー	250	
34	事務室	16	
35	アイビー倉庫・ 相談コーナー	32	
36	言語訓練室	30	
追加	医務室		
63	調理室	31	
64	配膳室 (602会議室)	33	
合計		440	



高齢者支援事業【現センター3階】

- 通所介護・国基準通所型サービス「アイビー」
介護保険による要支援・要介護認定を受けた方、また基本チェックリストにて事業対象者となられた方を対象に、機能訓練を中心に趣味・運動・音楽などの活動や食事サービスを提供します。
- 市基準通所型サービス「よつば」
介護予防の見地から、利用者が要介護状態になることを予防するための運動機能向上プログラムや、利用者間交流の機会を提供します。



- #### 移転・更新における対応 (メリット)
- ・時代のニーズに沿った施設機能, 設備の充実
 - ・アイビーの歩行訓練は室内で実施できるような大きさを確保
 - ・ユニバーサルデザイン等に配慮した通路幅員の確保

4 障害者・児支援ゾーン

ゾーンコンセプト

創作活動の機会、集い・交流の場の提供や、グループや個人の特性に合わせた音楽療法を主体とした放課後活動の場を提供します。

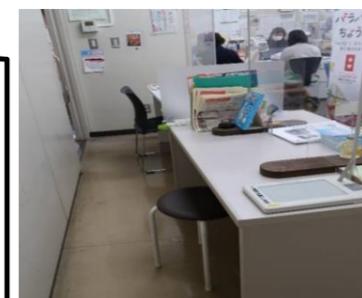
障害者地域活動支援センター 「ドルチェ」「クローバー」「若草」

事務室

生活支援
事業室

視聴覚室

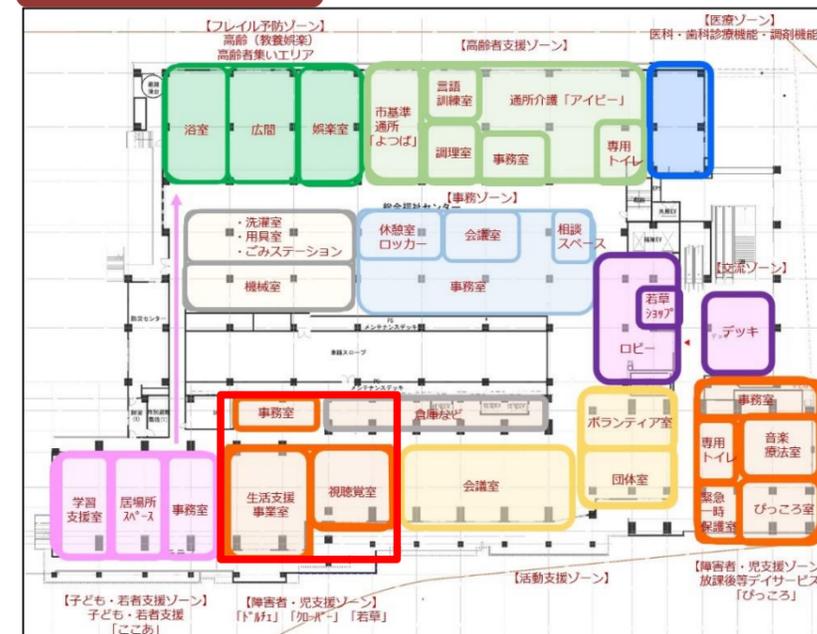
現況写真
【ドルチェ相談室】



現況写真【若草】



ゾーン配置



障害者・児支援ゾーン（ドルチェ・クローバー・若草）		現状㎡	ゾーニング面積（案）
41	生活支援事業室	51	ドルチェ・クローバー・若草として 280㎡程度を想定
42	クローバー室	45	
43	事務室	48	
44	視聴覚室	78	
56	プレイルーム若草	31	
合計		253	

移転・更新における対応（メリット）

- 時代のニーズに沿った施設機能，設備の充実
- プライバシーに配慮した相談室の確保・充実

障害者・児支援事業【現センター4階・5階】

○障害者地域活動支援センター「ドルチェ」（4階）

障害のある方が、地域でいきいきとした生活を続けるために必要な情報提供や仲間作りの支援，障害に対する理解促進と普及啓発，ボランティア育成，相談支援等を行っています。

○デイサービス「クローバー」（4階）

65歳未満の障害のある方に趣味活動の場を提供しています。

○作業体験デイサービス「若草」（5階）

点字や封入・折込などの事務作業，センター1階ロビーにて市内福祉作業所の工芸品やクッキー，パンなどを販売しています。

4 障害者・児支援ゾーン(続き)

ゾーンコンセプト(再掲)

創作活動の機会, 集い・交流の場の提供や, グループや個人の特性に合わせた音楽療法を主体とした放課後活動の場を提供します。

放課後等デイサービス 「ぴっころ」



現況写真【ぴっころ】



現況写真【音楽療法室】



ゾーン配置



障害者・児支援ゾーン (ぴっころ)		現状㎡	ゾーニング 面積 (案)
53	緊急一時保護室	27	ぴっころとして 240㎡程度 を想定 (専用トイレ 含まず)
54	ぴっころ②	18	
55	ぴっころ①	66	
57	事務室 (ぴっころ)	24	
58	トレーニングルーム (音楽療法)	58	
59	倉庫	14	
合計		207	

障害者・児支援事業【現センター5階】

○放課後等デイサービス「ぴっころ」(5階)

障害のある小・中学生と高校生を対象に, 放課後活動を提供します。

移転・更新における対応(メリット)

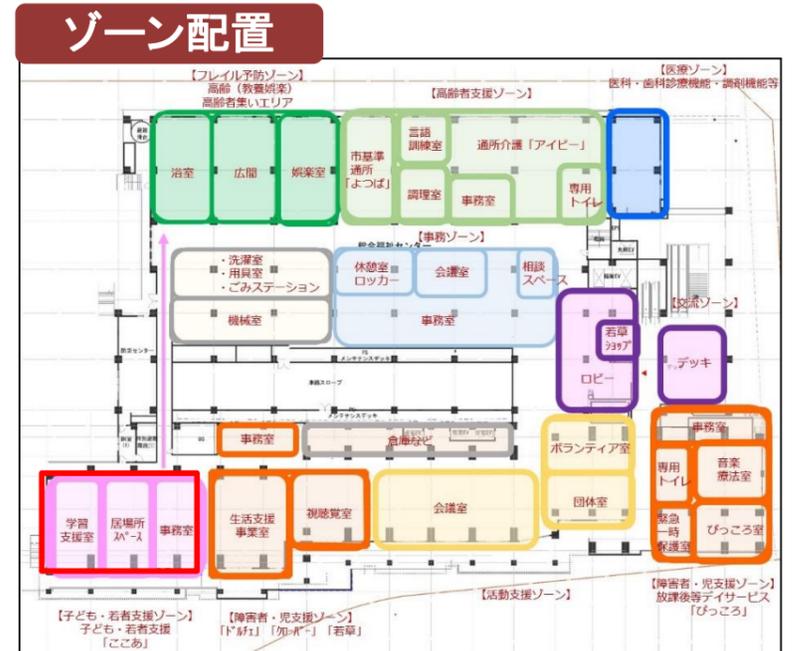
- 時代のニーズに沿った施設機能, 設備の充実
- 都の設置基準を満足させるために半独立した位置に配置

5 子ども・若者支援ゾーン

ゾーンコンセプト

家庭の事情等により、進学や就職をあきらめてしまうことがないよう、子ども・若者に対して学習支援や居場所の提供を行うとともに、進学や自立に向けた相談支援を行います。

また、増加傾向にある利用者に適切なサービスを提供するため、各事業スペースの充実を図ります。



現況写真【居場所スペース】



子ども・若者総合支援事業「ここあ」

子ども・若者支援ゾーン（ここあ）		現状m ²	ゾーニング面積（案）
51	事務室（子ども若者総合支援事業）	21	ここあとして270m ² 程度を想定
52	ここあ居場所スペース（子ども若者総合支援事業）	47	
追加	ここあ学習支援室（子ども若者総合支援事業）		
追加	ここあ自閉スペクトラム傾向児童対応スペース		
追加	ここあ専用倉庫		
合計		68	

子ども・若者総合支援事業【現センター5階】

○子ども・若者総合支援事業「ここあ」

家庭の事情等により、進学や就職をあきらめてしまうことがないよう、子ども・若者に対して学習支援や居場所の提供を行うとともに、進学や自立に向けた相談支援を行います。

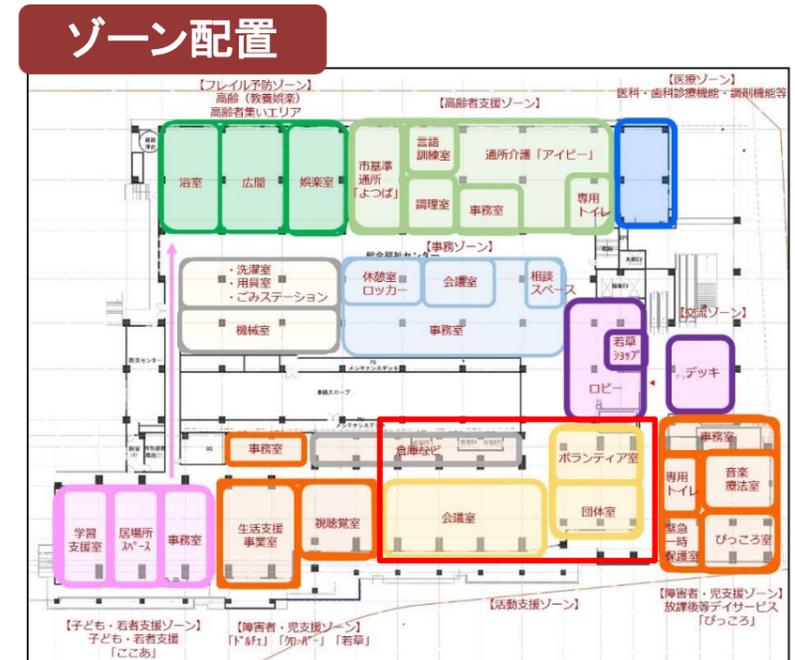
移転・更新における対応（メリット）

- 時代のニーズに沿った施設機能，設備の充実
- プライバシーに配慮した相談室の確保・充実
- バルコニー側から出入口を確保することにより，プライバシーに配慮

6 活動支援ゾーン

ゾーンコンセプト

多世代をはじめとした、多様な主体の活動や交流等を促進し、地域力の強化を図ることにより、地域における支え合いの推進や住民の主体的な地域福祉の活動を支援します。



活動支援ゾーン		現状m ²	ゾーニング面積 (案)
21	団体室	61	活動支援ゾーンとして 420m ² 程度を想定
23	ボランティア活動室・印刷室	64	
24	201・202・203会議室	208	
合計		333	



活動支援事業【現センター2階】

○会議室・機材等の貸出

高齢者・障害者・市内在住・在勤者などの活動の場を提供します。
また、市内で活動するボランティア・市民活動団体や自治会、当事者団体、奉仕団体、福祉施設、企業などが地域住民の交流や地域福祉の推進を目的に行う活動に対して、必要な機材を貸出します。

移転・更新における対応(メリット)

- ・一般利用者の貸出の利便性を考慮し、事務室（エントランス）の近くに配置
- ・利便性の向上のため、バルコニーなどからの出入りも確保することを予定

7 フレイル予防ゾーン

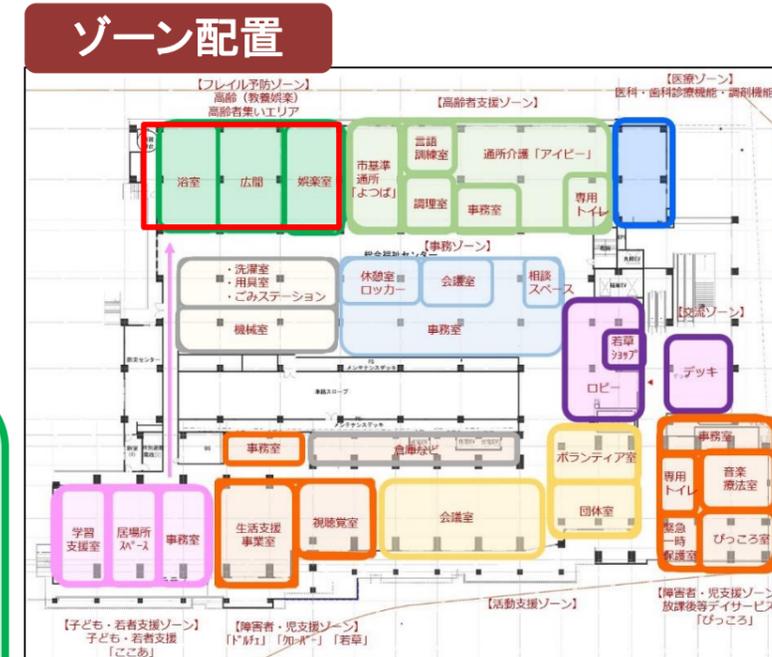
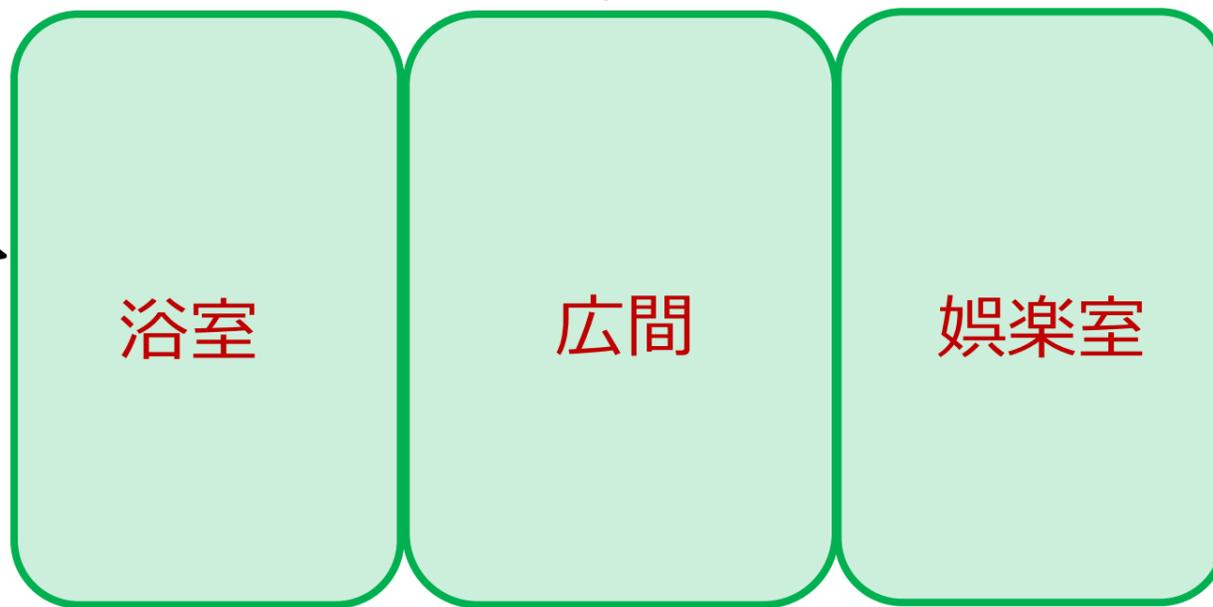
ゾーンコンセプト

高齢者や障害者の憩いの場の提供や、趣味や交流等を通じたフレイル予防の取組により、高齢者等の健康づくり、生きがいづくりを支援します。

高齢（教養娯楽）、高齢者集いエリア



現況写真【浴室】



ゾーン配置

現況写真【教養娯楽室】



フレイル予防ゾーン		現状m ²	ゾーニング面積（案）
31	浴室	28	老人憩の家と集約を図り フレイル予防ゾーンとして 270m ² 程度を想定
45	教養娯楽室62, 前室24, 茶室8, 水屋6, 坪庭6	108	
46	納戸	21	
	合計	157	

フレイル予防支援事業【現センター3階, 4階】

○教養娯楽室の利用（4階）

高齢者および障害者の方の憩いの場として一般開放します。

○入浴サービス（3階）

家庭での入浴や公衆浴場の利用が困難な方に入浴の機会を提供します。

老人憩いの家機能【布田】

○老人憩いの家

市内に居住する60歳以上の方に、多くの仲間と楽しい時間を過ごしていただく場所です。

移転・更新における対応(メリット)

- ・教養娯楽室等の確保・充実
- ・老人憩いの家機能との集約・複合化によるフレイル予防等の取組の充実

8 事務ゾーン

ゾーンコンセプト

各事務スペース・相談窓口を集約することにより、ワンストップ窓口や包括的な相談支援の充実を図り、総合福祉センター内部での連携がより円滑化・効率化することを目指します。



現況写真
【事務・相談スペース（2F）】



現況写真【事務・相談スペース（1F）】



窓口等受付事業【現センター1階，2階】

- 友愛訪問 ○高齢者訪問理美容サービス ○福祉相談
- 福祉機器の貸出し ○高齢者会食ミニデイサービス
- 調布ライフサポート（生活困窮者自立相談支援事業）
- さるすべりシニア調布（調布市老人クラブ連合会）の支援
- ひだまりサロン ○総合支援資金等の貸付
- 地域福祉コーディネーター（コミュニティワーカー）の配置
- 地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）の配置
- 地域福祉権利擁護事業他 ○福祉サービス利用援助事業
- あんしん未来支援事業

ゾーン配置



事務ゾーン	現状m ²	ゾーニング面積（案）
13 事務室（地域福祉推進課）	115	事務ゾーンとして 630m ² 程度を想定
追加 相談スペース		
14 応接室兼相談室	40	
15 警備員室兼送迎運転手控室	26	
16 男子ロッカー室	8	
追加 食糧倉庫（ライフサポート食料支援用）		
17 防災用備蓄倉庫	11	
22 事務室（総務課）	125	
25 倉庫	14	
37 サーバー室	9	
38 女子ロッカー・更衣室	18	
39 録音室（元検査室）	23	
61 電話相談室	13	
62 男子休憩室・女子休憩室	22	
B12 防災センター	21	
B13 清掃員控室	28	
B14 用具庫	14	
B15 洗濯室	24	
B16 文書庫①	24	
B17 文書庫②	48	
B18 備品庫	50	
合計	633	

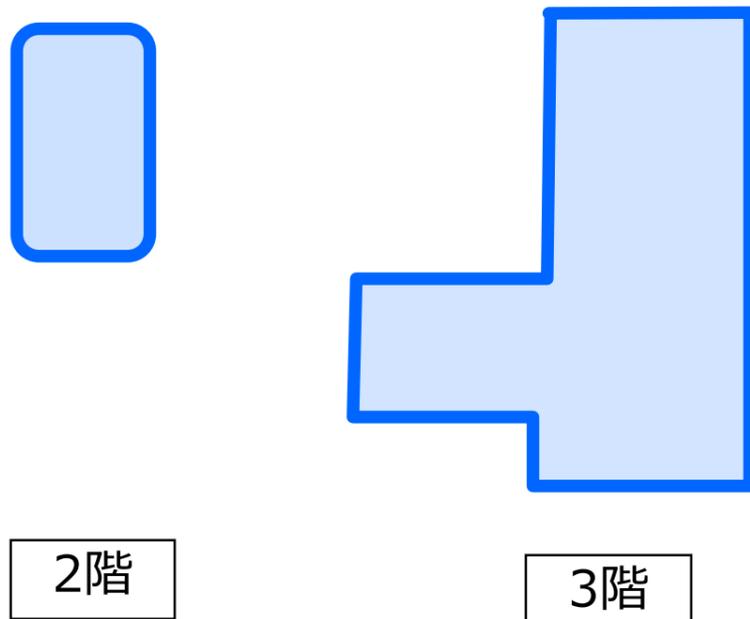
移転・更新における対応（メリット）

- ・相談窓口の集約に併せたプライバシーに配慮した相談室の確保・充実
- ・一般利用者の貸出手続きを考慮し、会議室等の近くに配置

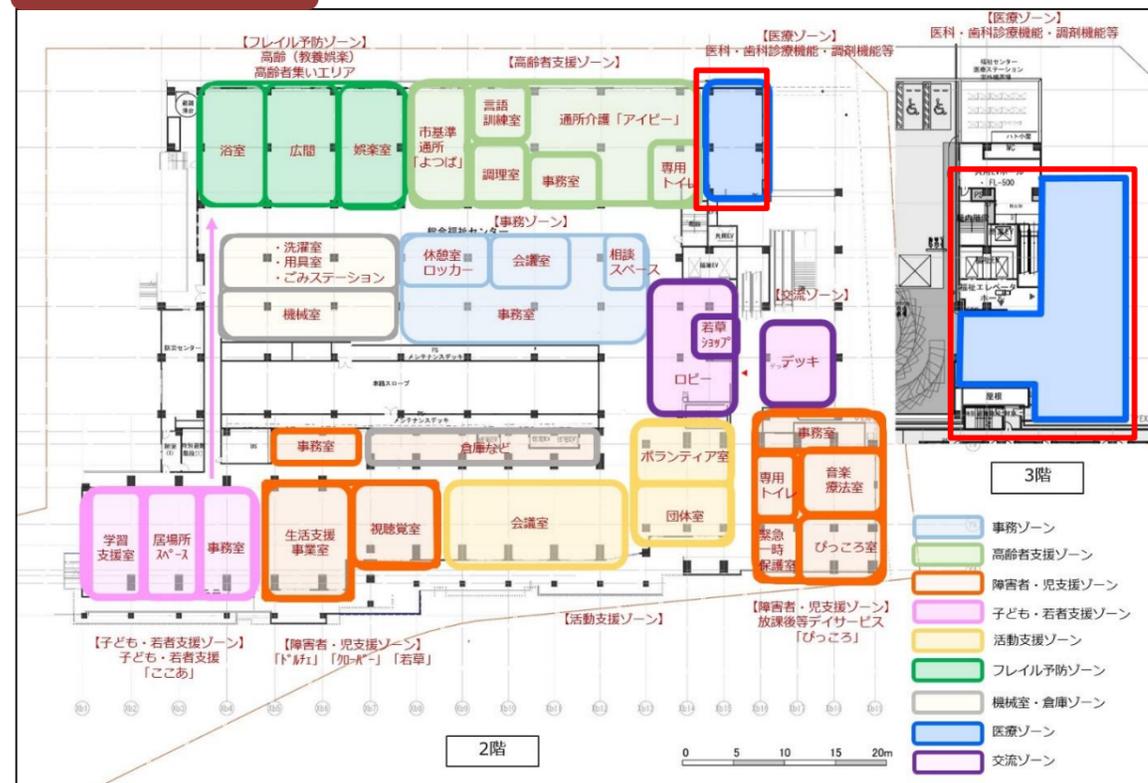
ゾーンコンセプト

医療ステーションの集約・複合化により，医科・歯科・薬科の連動による休日・夜間診療等の拠点機能の充実を図ります。
 また，感染症に対するこれまでの対応，経験等を踏まえた機能の充実を図ります。

【医療ゾーン】
 医科・歯科診療機能・調剤機能等



ゾーン配置



医療ゾーン		現状㎡	ゾーニング面積 (案)
休日夜間診療所	260	390㎡程度を想定	
小島町歯科診療所			
会議室等			

医療ステーション機能

- 休日夜間急患診療事業
 休日（土曜日含む）の準夜間の急病者に診療を実施します。
- 障害者歯科診療事業
 一般の歯科医療機関で診療が困難な障害者の方に歯科診療を実施するとともに，障害者を診ることができる歯科医を育成します。

移転・更新における対応（メリット）

- ・診療室の拡充
- ・感染症対策を考慮し，医科・歯科診療機能等を独立した3階を中心に配置
- ・発熱者対応時の動線，待合室等の確保

地域共生社会を充実するための総合的な福祉の拠点

